

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 【新】大都市圏販路拡大・定着化事業費（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流課 販売対策係 電話番号：058-272-1111(内4068)

E-mail : c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,500千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,500	1,500	0	0	0	0	0	0	9,000
決定額	10,500	1,500	0	0	0	0	0	0	9,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

近年の混迷する国際情勢や自然災害のリスクの高まりから、より一層、県民に安全・安心で美味しい食料を安定的に供給するため、各品目の生産拡大を図るとともに、生産量の拡大に対応し、販路開拓をする必要がある。

昨年度まで首都圏、関西圏において、飛騨牛、県産鮎を中心とした県産農畜水産物の販路拡大を図るため、プロモーションを展開してきた。今後は定着化を図るため、新たに仲卸等を対象とした商談会を開催し、新規流通ルートを構築し効率化を進めることが必要である。

(2) 事業内容

県産農産物の県外への販路拡大に向けて、大都市圏向けに県産農畜水産物のPRや新規流通ルートの構築に向けた取組みを行い、販路の拡大、定着化に取り組む

- ①新規流通ルートの構築に向けた仲卸等との検討、商談会の開催
- ②飛騨牛・鮎メニューフェア
- ③既取扱店舗へのフォローアップ

(3) 県負担・補助率の考え方

県民に安全・安心で美味しい食料を安定的に供給するためには、農産物の生産量拡大とともに、販路開拓は必須であり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

有

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	63	プロポーザル評価委員報償
旅費	1,241	業務旅費
需用費	1,100	食品サンプル提供、事務用品台
役務費	150	輸送費
負担金	100	イベント出展
印刷製本費	97	写真印刷代
委託費	7,749	グルメフェア、商談会開催
合計	10,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業活性化基本計画(仮称・令和8年3月策定予定)
<基本方針3>- (2) -<身近な大消費地・名古屋圏での販路拡大>

(2) 国・他県の状況

国における支援メニューは無し。
各県、地域の事情に応じた農畜水産物のPR、販売促進支援策あり。

(3) 後年度の財政負担

ぎふ農業活性化基本計画に基づくプロモーションを図るため、同計画期間中は継続。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県
県産農産物のPR、販売促進を岐阜県として実施するため。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

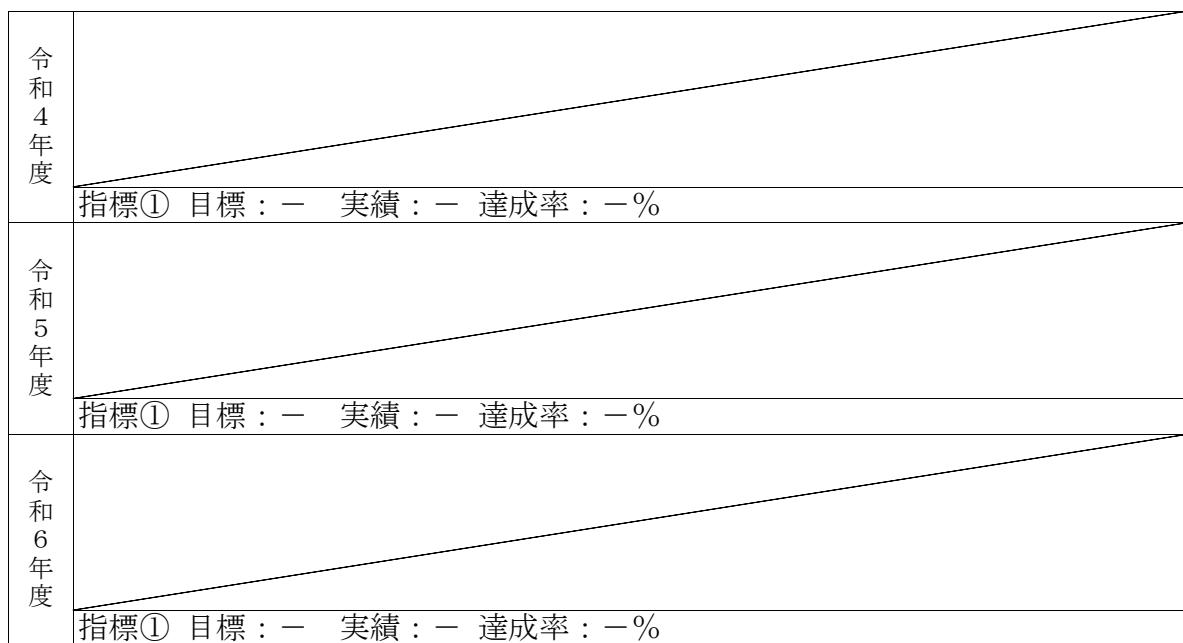
- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

首都圏・関西圏の県産農畜水産物がプロモーションの展開に加え、新規流通ルートを構築することで、販路が拡大、定着化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①県外における新規飛騨牛取扱店	0	10	20	30	50	—

（これまでの取組内容と成果）



2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	県民に安全・安心で美味しい食料を安定的に供給するためには、農産物の生産量拡大とともに、新たな販路の開拓を進める必要がある。
------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)	
------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	